

いよいよ今週金曜日（19日）

1000人で キャンパス中央を 占拠しよう!



06年6月15日1000人の学生が法大キャンパス中央を埋め尽くした

OCCUPY HOSEI

october
19

増田総長は出て来い! 申し入れ書への回答を行え!

★大学当局は申し入れ書への回答を行え!

金曜（19日）昼休みはキャンパス中央に集まろう!

この日は10月11日に学生センターに提出した申し入れ書（裏面参照）の回答日。

この間大学当局は、私たちが正式な形式・手続きをもって行った申し入れを完全に無視。毎日昼休み、直接回答を求めようとしても一切何も答えようとしません。それどころか私たちの行動を「組織的に妨害行為を繰り返している」として、ついに正門封鎖まで行いました。

法律も規範も関係なく、強権的に学生の声を押しつぶしながら、それでいて「ルールを守れ」と叫びたてる大学。「学生は黙って大学に従え」—大学の本音はこれ以外にありません。高額な学費をとられながら、就職難で将来も見えない。そもそも毎日受けている授業は一体何のためなんだ。学生の可能性はこんなもんじゃないはずだ!

今こそ、声を上げよう! 増田総長も、学生センター長もみんな出て来い! 学生の声を聞け!

★法大の不正を撃つ!

私たちはこの間、飲酒規制をはじめとする自主法政祭（学祭）の規制に断固反対してきました。

アンケートでの5割の反対、全学説明会における学祭実に対する2割の不信任。前代未聞の事態です。これらの事実経過を見てもわかるように、多くの学生が学祭規制に反対しているのです。

ここからが問題です。この事態を受けて、大学当局と学祭実は反省・再考をするどころか、学祭規制に反対する学生を全学説明会からしめだし、学内での行動を「迷惑行為」とし「これ以上何かやったら処分する」と処分警告書という形で脅しまでかけてきました。（しかも処分警告書には、責任者の名前すらついでない!）

表現規制、警備業法違反のガードマン、正体不明の弾圧職員…。10月19日、法政大学のあらゆる不正を暴きだそうではありませんか!

★大学を変え、社会を変える—壮大な挑戦の開始

「大学はこれでいいのか」「学生の存在はこんなものなのか」—わきあがる怒りと変革に向けての若い情熱が必要です。

大学と教育がビジネス化された結果、大学は「原子カムラ」の中心として、原発推進まで担うようになりました。その一方、学生の存在はないがしろにされ、昨年だけで1000人を超える自殺者が生み出されています。

ここまで貶められた大学と学生の存在。しかし大学・教育が生まれ変わった時、世の中を変革することはできる!

300万人にのぼるインドネシアのゼネストをはじめ、開始された世界の闘いと法大の闘い一つです。

壮大な挑戦を10月19日、法大から開始しよう!

10・19法大包囲デモ

10月19日(金)12:40

法政大学市ヶ谷キャンパス正門前集合

※13時半～デモ出発

※18時～20時、首相官邸前の反原発行動に合流

全学連

全日本学生自治会総連合

(斎藤郁真委員長)

03-365-4861

<http://www.zengakuren.jp/wp>

mail_cn001@zengakuren.jp